

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記
028 S	79	ページ
項目名		(B 除いた共通語)
オドロク(目覚める)。		(C 除いた特殊語) (1)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
0897.91	5. <おはろさんかトロクとかオドロク とかい)よ)にいてたが>	
2750.43	5. <津軽家は使う>	
2771.64	5. <odogar <u>u</u> とは言>	
3711.92	5. odogar <u>u</u> とい)	
3711.98	5. "	
3713.75	5. [odogar <u>u</u>] オトカレとい)	
3717.90	1. 母 odorotta	
3720.58	5. odogar <u>u</u> とい)	
3721.30	5. odogar <u>u</u> とい) 他動詞は odogas <u>u</u> .	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
028 S	79	[B 除いた共通語]	
項目名		[C 除いた特殊語]	(2)
オドロク(目覚める)			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
3721.71	5. odogarü という。	
3723.21	5. 眼をさめる odogarü. 眼をさます odogasü. 形態類似のため註記す。	
3724.36	1. (オドロケ…おきろ…とはいう)	
3725.72	1. (大人から小人に)「オドロツタ」の形で。	
3725.77	1. 「オドロケ」とはいう。	
3726.21	1. オドロク<婦>。「オドロツタ」の形で。	
3726.25	1. (オドロツタ)	
3727.81	1. 「子どもが寝ているので、オドロクから さわぐな」のように=使じ。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は敢密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
028 S	79	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(3)
オドロク(目覚める)			

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
3730.39	5. odogar ^{tt} とい。	
3732.26	5. odogar ^ü とい。	
3733.18	5. "	
3733.22	5. "	
3735.50	1. オドロッタとい。	
3735.77	1. <オドロカスナと否定の時I=クマ>	
3736.03	1. 「オドロケ」とはい。	
3741.57	5. odogar ^ü とい。	
3742.82	5. オトカ ^ル とい。	
3743.49	1. [] (本人も思い出して使うといつた)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に差べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
028 S	79	[B 除いた共通語]	
項目名		[C 除いた特殊語]	(4)
オドロク(目覚める)			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
3744.33	1 <オドロッタ>	
3745.62	1 (オドロッタ・オドロケ など)	
3746.76	1 <オドロサス を起すことには使う>	
3747.91	1 <オドロイタ> (子どもに対して用いる由)	
3753.85	1 <オドロッタ という形で>	
3754.13	1 <オドロッタ>	
3754.37	1 <オドロッタ> と)	
3754.76	1 <オドロッタ>	
3762.85	5 ođogaru とはいじ	
3763.17	1 <オドロッタ> と)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
028 S	79	(B 除いた共通語)	
項目名 オドロク(目覚める)		(C 除いた特殊語)	(5)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
3764.86	4. 〈古・稀〉	
3765.03	1. (「おどろった」の形下)	
3765.74	1. (「オドロッタ」と)	
3772.32	5. オトカルといふ。	
3774.44	5. (オドロッタの形はあった)	
3775.83	1. (少々、「オドロッタ」といふ)	
3776.51	5. 隣村(旧)土洲では使ふ。	
3777.32	4. (少く)	
3784.24	1. (オドロッタと)	
3787.45	4. 使わぬ	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
028 S	79	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(6)
オドロク(目覚める)			

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
3787.50	1. (オドロエダク形で)	
3790.27	5. odogaru tt と云う。	
4697.92	5. <me:sameru tt を tt か>	
4790.74	5. <ogiru tt あるいは me:sameru tt と云う tt は う>	
5472.91	5. [mege:ta ナガイイと言]	
5517.90	5. <ヒョクリスルと云う> .	
5557.48	5. <bekkuri jiruと云う>	
5568.57	5. (オドレルと云う)ことはある)	
5621.43	5. obieta·obijakasaretaと云う)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() () は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
028 S	79	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(7.)
オドロク(目覚める)			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5623.85	5. <そりゃ ogiru た!>	
5631.75	1. <よく使う>	
5632.83	5. ?	
5641.07	1. <アサンホサ odoraita から抱いてやれよ>	
5641.13	1. <こどもの眠っている場合にさきって使う>	
5690.96	5. <ビックリするとい>	
5699.42	5. #	
5790.79	5. (「目覚める」を使う)	
6287.71	1. <jonaka ni odoraita などとい>	
6368.60	4. [夜半にわかることを言]、[朝]については 言わぬ]	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
028 S	79	(B 除いた共通語)	(8.)
項目名		(C 除いた特殊語)	
オドロク(目覚める)			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6394. 13	2. <あまり使わない>	
6398. 78	4. <現在はほとんど使わないか>	
6460. 76	2. 使わない。	
6462. 52	1. <夜中にふと目かまわす場合には 使う>	
6472. 05	1. obokeru	
6474. 83	5. <ネサメルと普通言><古老はオドロク を使ったらしい>	
6476. 93	1. テレ夜中にふと何かり物音に目かま わるといふよりな時に使う。従って普通の	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
028 S	79	(B 除いた共通語)	(9)
項目名		(C 除いた特殊語)	
オドロク(目覚める)oe			

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
	意味の「目が覚める」とは少し意味がちがう。 この被調査者は「オドロク」ヒタ行ラ行の 混同がみられた。	
6477.02	5. (但し草壁の近くで、同じ内海町 ^内 町 苗圃(のりま)の出身である久留島武保氏 (草壁小学校長)は調査の側=居 ^内 れて、 子供の頃聞いた覚えがあると言われた)	
6482.52	4. <老人は若いものよりも多く使>	
6482.75	5. <mc ga sameru とい>	
6484.43	1. ヨナカニ オドロイラアガズ ^ン ハツタ	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
028 S	79	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(10)
オドロク(目覚める)			

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
6485.14	5. [然し, 旧坂出市の南リオヒとの川津村 (今は新市内)では, 夜明けなどに何かの 物音でふっと目覚めたよりなとまには使 然し, 坂出市内では使わない]	
6485.46	1. <驚くという時には オオケタノ / ビシクシタなと という。>	
6486.07	2. 然し, その多くは使わない。ヨナホニキョト オドロイテナ。のように用いる その時には 夢現の間にぼんやりした意識の状態 目覚め, やめて又眠入ってしまうという時に用いる。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
028 S	79	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(11)
オドロク(目覚める)			

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
6487.43	2. <ソレテオルケドモ, インマリツカクヌ。(それで意味は介るけれどあまり使わない)> (それで多少は使うかという気持が残っている。)	
6491.49	1. <odoroi-taの形でい>	
6492.11	1. neodoroi-taという形はある<neodoroi-taはすい眼中にハット目を覚ますことである。眠り足って目覚めるのにはいやな>といっていた。	
6492.50	5. <odorokkuを使う者はこの地域にいる。>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
028 S	79	(B 除いた共通語)	(12)
項目名		(C 除いた特殊語)	
オドロク(目覚め)			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
	026Sに注記したのと同じ状況で被調査	
6505.60	1. 者にこの語も吸収させなされたの下あろう) 過 ^語 剰により質問しなされたので、おとさうの 郵便調査の答え。	
6519.43	5. *	
6521.17	5. 「オドロク」という語なし。	
6538.32	5. <「おどろく」ということは、判るが、 では使わないことはである>	
6554.45	5. <ふつうは「ビックリスル」と云う。>	
6555.65	5. <オドロクということは、 自分 をあまり用いない>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
028 S	79	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(13)
オドロク(目覚める)			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6565.17	5. <odorokuというコトバを使うのはよほど 矢のきいた人で、我々はbikkurijitaと使う>	
6572.29	5. <「おどろく」は、ビックリした時に使うのよ>	
6583.45	5. <「おどろく」は「ビックリスル」こと>	
6583.93	1. <子どもの寝 ^ね ていて、近くで騒いで目をさ す時は使う>	
6593.98	1. <[odoroku]という発音>	
6730.33	5. 「おどろく」に当る鴨川 ^{鴨川} の言葉は普通 [tamageru]である。	
7275.07	5. * (びっくりすること)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
028 S	79	(B 除いた共通語)	(14)
項目名		(C 除いた特殊語)	
オドロク(目覚める)			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7289.31	5. 目覚めるは ozomuといふ。	
7302.87	5. <me samasuu>といふ。	
7305.13	5. <父が使っていたのを聞いたことがある>	
7311.68	5. <ozomuといふ>	
7312.69	5. ozumuといふ。	
7312.83	5. tamagaru	
7320.59	5. me samasuuといふ。	
7321.93	5. ヒックリおろす時しか使わない。	
7322.81	5. <okiruとしか使わない>	
7324.47	2. 然し mega samuru (F=目 覚める) と普通いふ。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
028 S	79	(B 除いた共通語)	(15)
項目名		(C 除いた特殊語)	
オドロク(目覚めろ)			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7329.39	5. <me ga sameru とい>	-
7329.57	1. <5ji ni odorote... のよう(使)>	
7331.27	5. <ozuman と云>	
7332.46	5. <me no samuru とい>	
7333.51	5. <ozuman・okiran と云>	
7338.48	5. <tamageru とい>	
7342.12	5. <me samasu とい>	
7342.72	5. *(<tamagaru とい>)	
7342.76	5. <me sameta> とい.	
7343.76	5. 起きていろを ozu:dzoru とい.	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
028 S	79	[B 除いた共通語]	(16.)
項目名		[C 除いた特殊語]	
オドロク(目覚める)。			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7349.91	5. <okiru とい>	
7351.68	5. mega sameru とい。	
7352.14	5. <オゾム とい>	
7352.61	5. オズム を使。	
7353.19	5. (?) <ozom ^u とい>の如ふつ。	
7353.51	5. <オズム とい>	
7354.23	5. < >	
7356.70	5. [大野郡西大野村では使。]小学校の 先生の設。	
7359.78	5. <mega sameru>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記
028 S	79	(B 除いた共通語)
項目名		(C 除いた特殊語)
オドロク(目覚める)		(17)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7362.42	5. タマカル・ヒツタマカルという。	
7364.34	5. タマカル。〈目覚まらぬことはオズムという〉	
7373.23	5. 〈タマカル を用いる〉	
7373.92	5. 〈オズム という〉	
7373.99	5. 〈サムル・オズム を使う〉	
7374.15	5. 〈オゾム という〉	
7374.75	5. 〈オズム・ナカサム ^ウ を使う〉	
7381.97	5. タンク ^ウ カル を用いる。	
7385.61	5. 〈OZOM ^ウ といふ〉	
7390.75	5. オズム という。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
028 S	79	(B 除いた共通語)	(18.)
項目名		(C 除いた特殊語)	
イドロク(目覚める) _{os}			

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
7392.33	5. <オナ/サムル・オス<(オス<トル) 目覚まして ぬ所に居る状態を特にオス<トルという>	
7393.62	5. オス<という	
7401.60	4. 近ごろは、使うこと became	
7401.92	5. (武智正人「愛媛の方言」によると松山 (市山部)でも使っている)	
7403.16	1. <one o samasu>も使っていると答えた	
7403.21	1. <kesa ra josi (今朝) ni odoruita 今朝に目覚めた>	
7410.57	1. <ju:ibe wa saisai odoroi te nerare nanda 今と今と目覚めるといふ>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
028 S	79	(B 除いた共通語)	(19)
項目名 イドロク(目覚める)		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7412.71	1. <tamageta toki no> 言う由。	
7430.15	1. <okiruとぅ> (話している間に, Ajini odorokana iken zo)とぅいこととあるとした odorokuという形では, 使わないという意味らしい。)	
7430.75	1. <幼児が, 急に目をさましたときなとてとぅい>	
7430.80	5. (調査者の手塚ち資料でも東宇和郡の西半分の地域以下では使っていない)	
7432.44	1. * 使わない。	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<> () () は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
028 S	79	(B 除いた共通語)	(20)
項目名		(C 除いた特殊語)	
オドロク(目覚める)			

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
7440.72	4. <以前に>	
7502.22	5. 小又川(竜神より)1kmへたまたま字では、 <昔の人は言たせしれない>と。	
7502.91	4. <近頃はあまり用いられない>	
7503.11	1. <北部大和方言との差である>	
7503.48	1. <ハッとは目覚めるとエにウ。たは「目覚めろ」 というのと違ふ。>	
7513.43	4. <若い人は使わない>	
7513.69	1. 例<ケサリ オドロイテ ミタテ オオメ フリヤルル。> <今朝 目覚めつて見ると 大南坂 降っているりたよ>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
028 S	79	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(21)
オドロク(目覚める)			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7522.94	1. 例 <ユウヤ 2ジユロ オドロク アトモオナレナク> <昨夜2時頃に目覚めて、おとこり眠れなかつた>	
7523.27	4. <むかしは聞いた、まいたことがある。>	
8302.55	5. <オスムを使う>	
8302.91	5. < " >	
8303.47	5. <オキルを使う>	
8303.70	5. <オスムという>	
8345.24	5. 「おとろく」という語を使わない	
1156.89	5. udurutsu (動詞の語尾Nは省略される)	
1167.01	5. udurutsun	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
028 S	79	(B 除いた共通語)	(22)
項目名		(C 除いた特殊語)	
イドロク(目覚める)。			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
1169. 84	5. <「おどろく」に当る語形は udurutjun>	
1223. 91	5. (" " udurukun)	
1231. 88	5. udurutjun	
1232. 29	5. <「おどろく」に当る語形は ururuk'in>	
1232. 75	5. < " " udurukun>	
1241. 05	5. < " " ururuk'un>	
1241. 96	5. < " " udurutjun>	
1250. 59	5. < " " zudurutjun>	
1251. 73	5. < " " zudurutjun>	
1251. 98	5. < " " udurutjun>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
028 S	79	(B 除いた共通語)	(23)
項目名		(C 除いた特殊語)	
オドロク(目覚める)			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
1260.78	5. <「おどろく」に当る語形は Zudurutsun>	
1261.32	5. < " " " udurutsun>	
1261.80	5. < " " " ururutsun>	
1270.26	5. < " " " ururukun>	
1270.29	5. < " " " Zudurutsun>	
1271.20	5. udurutsun	
2074.69	5. <おどろいたに当る語形は udo:ri>	
2075.22	5. <おどろくに当る語形は udarakun>	
2076.98	5. < " " " udurugun>	
2095.62	5. < " " " udurugun>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
028 S	79	(B 除いた共通語)	(24)
項目名		(C 除いた特殊語)	
オドロク(目覚める)			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
2140.49	5. <おさまる意は misuri:>	
2141.61	5. <「おどろく」は uduru ₁ u>	
2141.71	5. <おどろくに当る語形は udarak†>	
2150.06	5. < " " uduru ₁ u>	
2150.17	5. < " " udurutst>	
2151.20	5. < " " uduruk†>	
2151.51	5. < " " uduruk†>	
2151.64	5. < " " udurutst>	
2151.67	5. < " " udurutst>	